

エピソード59
「先生に何が
わかるんですか！」



大地先生
教職年数4年目の小学校教師



ジュリさん
教師を目指して勉強中



今回は、昨年度、大地先生が受け持った中学年のあおとくんとお母さんについてお話をお聞きます。

あおとくんは、前任担任から配慮を必要とする児童で、お母さんにも丁寧なかかわりをするようにとアドバイスを受けました。

あおとくんを、学習が遅れている、クラスの子どもたちとコミュニケーションをとれない、忘れ物が多い、という特徴のある児童として、引継ぎました。





お母さんについての引継ぎはどのようなこと
でしたか？

はい、あおとくんの学習や学校生活の状態を、
お母さんに説明すると、担任に攻撃的な態度で
話してくる…と聞きました。

お母さんとの関係を早く作った方がよいので、家
庭訪問前にこちらから電話をかけて関係づくりに
取り組んだ方がよいとアドバイスをもらいました。





アドバイスをもとに、大地先生が取り組んだことを聞かせてもらえますか？

3月に卒業学年を出したこともあり、…少し甘く考えていたと思います。実際、アドバイスをもとに作戦を考えませんでした。

学校が始まり、あおとくんの様子を観察すると、基本的な学習内容を理解できない、発達段階の違いから他の子どもとかかわりをもてないことはわかりました。しかし、お母さんとの関係作りを忘れていました。





そうですか、家庭訪問はいかがでしたか？

初めてお母さんにお会いし、あおとくんの様子を、私の思った通りに話し始めたところ、

途中で、「いったい先生に何がわかるんですか！」と怒りはじめ、私への不満を20～30分、話されました。





先生は、その時、お母さんにどのように対応したんですか？

お母さんの話を聞いている中で、違う…と思うこともありました。私のあおとくんへのかかわりや、あおとくんの行動パターンなど、お母さんよくわかっているなと思うこともありました。

お母さんの怒りが落ち着いたかなと感じたところで、「あおとくんをよく見ていなかったかもしれません。あおとくんのことを教えてください。」と謝りました。





先生のことばを聞いて、お母さんはどのように話されましたか？

お母さんの怒りのモードが少し変わったようでした。それから、2時間、お母さんの話は続きました。

あおとくんの誕生と生い立ち、家庭内の話、お姑さんの話もありました。最後には、「先生はまだ信用できないけど、相談はできそう」と私を肯定してくれたと感ずることばがありました。





その後、先生はどうしたのですか？

学校に戻り、この経緯を前担任に伝え、学年団で情報を共有することになりました。

その後、お母さんとの関係のある程度、保つことができています。今は、スクールカウンセラーにもお母さんの話を聞いてもらって対応しています。





あおとくん、あおとくんのお母さんとのかかわりを通して、考えことを聞かせていただけますか？

そうですね、前担任の先生の話聞いて児童理解に役立ってること、保護者の話を丁寧に聴いて関係をつくっていくことの一步を自覚しましたね。



ジュリさんの気づき



- 保護者の怒りを感じる話を長時間、耳を傾けて聴くことは、とても辛い経験だと思います。
- お母さんが子育ての心配や不安、辛い気持ちを話せる人や場を探すのは難しいのかなとも思いました。
- 前担任からの引継ぎは、大切だなと思います。

お・し・ま・い

若い先生の保護者支援



大地先生



ジュリさん

<掲載してあるエピソードはエデュサポネットメンバーの経験をもとにした架空のエピソードです。>

イラスト 尾上樹里
(北海道教育大学 大学院生)